

新鶴見小学校マニフェスト(中期学校運営計画)

計画期間

平成18年12月1日～平成23年3月31日

学校教育目標

- ・自他共に認め合い、共に生きる、思いやりのある子どもを育てます。(徳育・共生)
- ・自らの力で、粘り強く、最後まで課題解決に取り組むたくましく、意欲的な子どもを育てます。(知・体育)

学校経営方針

学校教育目標を実現するため自ら生活を切り拓く子の育成に向け、夢ある学校づくりを目指します。

- ・自分を高め、横浜を創る子どもを育てるため、楽しく学べる教育課程を編成します。
- ・まちと共に歩む信頼された学校づくりに努めます。
- ・教職員が、家庭・地域と連携し、教師力を磨き、組織力を高めて前進する、活力ある学校運営に努めます。
- ・安心安全な環境のもとで生活できるまち、学校づくりに努めます。

指導の重点 「元気なあいさつ・交わす笑顔でこころ豊かな明るい学校」

- ・基礎基本の定着に努め、コミュニケーション能力を高める指導の充実を図ります。
- ・体験学習の場を多く持ち、自らが判断し行動できる学習を取り入れ、生きる力を育みます。
- ・家庭・地域や関係諸機関、学校、幼稚園、保育園と連携し、異年齢の人々と交流することにより豊かな人間性を養います。
- ・危機回避能力育成のため、防犯・防災・交通安全指導の充実を図ります。

改善の視点

取組目標

1 一人一人が分かる喜びを味わえる授業を心がけ、教科における充実感をもたせる展開が必要です。

平成20年度までに、朝の励みタイムや算数の習熟度別指導をより充実させ、自己学習時間の確保と拡大に工夫します。22年度までには、国語も視野にいれます。

・平成19年度から、市学習状況調査を基に、個に応じた指導の工夫・改善を図り指導力を高めます。

・小中連携で、授業交換や、教員の派遣交流を行います。

2 豊かな心の育ちを大切に社会規範意識や公共心を育成する取組が必要です。

毎年「お話会」を行っている。1～6年まで豊かな心を育み、読書好きにする機会を増やすことにより、国語学習の充実を図り、コミュニケーション能力を養います。平成19年度からは、低学年の読み聞かせ保護者有志と連携し、図書室の本購入にも図書委員会児童も交え本の紹介を定期的に行います。

・平成18年代表委員会、人権委員会の児童が提案する「挨拶すると気持ちいい」の目標を、定期的に活動週間を19年度から設定し習慣化できるように努めます。学校から地域へ礼儀として、どこへいっても、挨拶ができるように、支援します。

・クリーン作戦を、22年度までに、地域への参加場所を検討し、公共施設の利用マナーを身につけるように指導に努めます。

3 まちと共に歩む学校として、地域や地域にある関係諸機関との連携が必要です。

学校を開く週間に、19年度は、授業参観を計画し、より多くの方々から見ていただき学校や子どもたちへの理解を深めます。

・6月と2月のオープンスクールには、地域と保護者が子どもたちとふれあう、授業の工夫を図ります。

平成19年度から20年度までに、地域教育者の登録を、精選して、各活動ごとに、代表を決め、活動がスムーズに行えるように授業協力者とその他環境整備等の協力者を分けた組織をつくり一層学校との連携を深めます。

	<p>・G30の取組を、平成19年度～20年度にかけて、自然広場の活用や管理規則などにも広げ、学校の学習・遊びの場所を、地域のスクールパートナーさん・PTA委員と話し合い、環境への関心を高め、実践力を育てます。利用者への協力活動として、22年度までに立て看板や、ポスター作成を支援します。</p> <p>・地域行事の児童参加率を高め、まちの子どもを育てる地域と学校の子どもの理解を図ります。教職員の参加率を高めることを目指します。</p>
4 子どもの体力向上と健康でたくましい身体を育成することが必要です。	<p>平成19年度学校給食民間委託を受けて、食育に取組み家庭と連携し、三食の栄養バランスにも自己管理できる指導を目指します。</p> <p>・平成19年度～20年度にかけて、市の体力テストの1～6年まで実施した結果を分析した上で、体育授業に各学年ごとに学習の強化を図り、個に応じた体力指導を行います。</p> <p>・平成23年度までに、中休みを利用した、行間体操を考え、体を動かす機会を体育授業以外にも設定し、子どもの成長を支援します。</p>
5 子どもの安全を脅かす事件が後を絶ちません。安全・安心な学校づくりが一層必要です。	<p>「とと・かか見守り隊」の活動に、平成19年度からは、危機回避能力を育成するために、前期・後期に1回ずつ、全校安全指導を行い、見守り隊と共にワークシートを活用して、日頃の自己の振り返りを行い、自ら命を守る意識を高めます。</p> <p>・新1年生の保護者に、入学後の下校補助を呼びかけ、できるだけ多くの参加を20年度までに目指します。他人任せの安全ではなく、保護者一人一人の意識啓発に、PTAと協力しながら努めます。</p> <p>はまっこふれあいスクール、コミハウスと連携しながら、不審者対応や防犯研修を行い、日頃から、連絡体制の共通理解を図ります。</p>
人材育成の考え方	<p>・新任・若手教諭のリーダーシップの育成に、外部講師を積極的に招き、教員としての自信と使命感を高めます。</p> <p>・地域と協力することで、異動があっても、伝統を継承していける組織づくりを確立します。</p> <p>・校内特別支援や個に応じた指導の校内研修を計画的に進め、キャリアに応じたグループで研究会をもち、学校の活性化を図ります。</p>
平成18年度の重点取組項目	<p>・総合的学習の農事暦に沿った、体験学習が展開できるように、事前のスクールパートナーさんとの打ち合わせを行い、人・事・物・自然により感動する機会を充実させます。</p> <p>・学校におけるゴミの分別とISO14001の取組による事から始める環境教育を進めます。</p> <p>・国語教育を通して、自己表現する力を身につけ、コミュニケーション能力を高めます。</p> <p>挨拶がお世話になっている人に、友だちに、家族に自分から言えるように奨励します。</p> <p>学校防犯で普段から、複数下校、時に応じて途中教員見送りを行います。</p>
これまでの取組結果	(平成19年度から記載します。)
教育懇話会の意見	<p>新鶴見小学校マニフェストを策定するに当たり、平成18年10月～11月に「教育懇話会3S」にご意見をいただきました。主な、意見は次の通りです。</p> <p>・あいさつは、どこでもよく聞かれるようになりうれしい。親もやってくれるといいです。</p> <p>・安全面において、歩行・自転車のマナーを、家庭と連携してまちぐるみで注意したいと思う。</p> <p>・学校に招かれるが、食事のマナーに指導を強化して欲しいです。</p> <p>・学校だけでなく、家庭の問題も(しつけ)子どもの様子から感じることが多い。保護者対象の学習の場が必要ではないかと思う。先生も、叱ることがなくなっているようで寂しい。</p> <p>・地域のスクールパートナーを、体験学習に使ってほしい。大いに子どもたちに協力したい。そのためには、もっと、学ばせることに、プロとして、計画的に先生は、勉強してきて欲しい。指導者は先生という自覚が欲しい。</p>